

安全データシート(SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称:	
製品名	MR-HS11
会社情報	
会社名	武藤工業株式会社
担当部署	3Dプリンタ事業部
住所	〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-11-6
電話番号	03-5431-3344
Fax番号	03-5431-3346
Website	https://www.mutoh.co.jp/
推奨用途及び使用上の制限	3Dプリンタ用紫外線硬化性樹脂

2 危険有害性の要約

GHS 分類	
物理化学的危険性	
引火性液体	区分外

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

組成及び成分情報:

化学名又は一般名	CAS No.	濃度範囲(Wt%)
Acrylate monomers	-	60-90
Photopolymerization Initiators	-	1-10
分類に寄与する不純物及び安定化添加物:	情報なし	

4 応急措置

吸入した場合:	呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:	皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合:	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 医師の診断／手当を受けること。
応急措置をする者の保護:	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること。

5 火災時の措置

適切な消火剤:	泡消火剤、二酸化炭素、ハロゲン化物消火剤、粉末消火剤、乾燥砂
特有の消火方法:	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消化後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
消火を行う者の保護:	消火活動の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置:

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
風上に留まる。
作業者は適切な保護具(『8.ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
低地から離れる。
適切な防護衣を付けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に関する注意事項:

環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材:

漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。
除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できるから容器に回収する。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
床面は十分に水洗いする。水洗いの際には必要に応じて中和する。

二次災害の防止策:

すべての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項:

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
眼、皮膚又は衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレー、粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
飲み込まないこと。

接触回避:

『10.安定性及び反応性』を参照。

衛生対策:

取り扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管:

安全な保管条件

消防法、毒劇法等適用法令の定めるところに従う。

『10.安定性及び反応性』を参照。

直射日光、高温多湿な場所を避ける。

換気のよい場所で密封保管する。

冷所(所定保管温度がある場合はその温度)及び暗所にて保管する。

安全な容器包装材料

消防法、毒劇法、国連輸送法規等適用法令の定めるところに従う。

包装形態のまま、保管する。他の容器に移さないこと。

8 ばく露防止及び保護措置

設備対策:	本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。取り扱いについては適切な換気装置を設置した場所で行う。
保護具:	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。 保護手袋は不浸透性のものを用いること。
眼の保護具	眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。 必要に応じて不浸透性の保護衣(前掛け、ゴム長靴など)を用いること。

9 物理的及び化学的性質

外観	淡黄色透明液体
臭い	弱いエステル臭
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	< 0°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	181°C
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重(密度)	1.08
溶解度	水に不溶(アセトン等溶媒に可溶)
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	340mPa・s(25°C)

10 安定性及び反応性

化学的安定性・反応性	遮光容器中保存においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定
化学的安定性・反応性	情報なし
避けるべき条件	加熱、直射日光
混触危険物質	高温の物体、火花、裸火、静電気火花 強酸化剤、過酸化物、鉄、塩基性物質、ある種の金属化合物
危険有害な分解生成物	情報なし

11 有害性情報

急性毒性	情報なし
------	------

12 環境影響情報

生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13 廃棄上の注意

<p>残余廃棄物:</p>	<p>焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、又は都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 焼却する場合は、粉塵や飛沫が飛散しないように注意して少量ずつ行う。</p>
<p>汚染容器および包装:</p>	<p>汚染容器及び包装容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去すること。</p>

14 輸送上の注意

国際規制:	
海上規制情報	該当しない
UN No.	該当しない
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	該当しない
UN No.	該当しない
国内規制:	
陸上規制情報	消防法、毒劇法、道路法など適用法令にて定めるところに従う。
海上規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
特別の安全対策	容器に漏れや破損等ないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 容器が破損しないように水漏れや乱暴な取扱いを避けること。

15 適用法令

労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	危険物 第 4 類第 3 石油類(非水溶液体)
化学物質排出把握管理促進法	非該当

16 その他の情報

参考文献:

Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th ed., 2009), UN JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
NITE GHS 分類結果一覧

【注意】

本 SDS は、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。